

事業所名		ぶっぶ	公表日 令和7年4月23日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		大きく分けて・メインルーム（訓練室）・静養室・スヌーズレンルームの3つの部屋を用意し必要に児童のニーズに合わせて使用している	・スヌーズレンルームを必要とする児童が複数いる場合に対応に困ることがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		・外出活動の支援を行う際は、児童の安全と周囲の安全を確保するため最大3回に分けて活動の運営を行っている	・職員の欠席によって、活動の中止（主に外出）になる事が多い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・各児童に必要な資格支援を取り入れながらフロアの構築を行っている ・フロア内に段差はなくバリアフリーの構造	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・個別に合わせた環境を用意している	・個別児童が多く、部屋の数が少ないと感じるときがある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・委員会会議や年4回の定期社内会議などで、業務の見直しや必要な周知を行っている	・パートへの周知が報告書のことが多く内容の理解が届いていないことがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎年度3月～4月の間に「評価表」を用意て保護者に事業所の評価を求めている	・実際の運営が保護者に届いていない内容がある ※詳しい内容は業務改善計画にて報告
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・毎日の申し送りや定期社内会議などでスタッフの意見を把握している	・不定期なことが多い
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・障害の特性はもちろん感染症・BCP・虐待防止・身体拘束に関しての研修・訓練の機会を設定している ・外部研修にも参加している	・外部研修の参加頻度が少ない
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・令和7年3月より大津市及び事業のホームページ、事業所内に支援プログラムの公表を行っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・各児童に担当の職員配置し、少人数のアセスメントを徹底して行っている。また定期モニタリングの機会を通じ保護者の思いやニーズを確認している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・各児童に担当の職員を配置し、アセスメントの際は担当の職員が各スタッフの意見をまとめ児童発達支援管理責任者へ報告している ・児童発達支援管理責任者は、現場スタッフのアセスメントを含めて個別支援計画書の作成を行っている	・支援の目標と、アセスメント内容のズレを修正する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・個別支援計画は、アセスメントの結果を踏まえ作成し、個別支援計画（案）をもとに毎月個別支援会議を開き周知、改善を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・各児童に、「アセスメント表」を使いアセスメントを実行し、各スタッフのアセスメントや、保護者の意見を「アセスメント表」に落とし込んでいる ・必要に応じて、「行動アセスメント」「行動アセスメント結果」の表を使用している	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・個別支援計画書の「項目」に「放課後等デイサービスの提供すべき支援」を記載	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・複数のスタッフ意見を反映したり、児童の「したい」を尊重しながら計画している ・活動の質を向上させるため、毎日の活動を計画化し目標や支援策なども計画書に記載している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	・毎日違った活動を行っている	・少しマンネリ化している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団活動に課題がある場合は、個別支援に記載している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・毎日（長期休暇は除く）支援開始前に40分の申し送り時間を設けている	・長期休暇時は申し送りの時間がなく、口頭での共有がほとんどになってしまう
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・翌月の申し送り時間に、支援後の振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・申し送りの記録は毎日行っている、各児童の記録は担当の職員が管理し、申し送りのときに報告・記載を行っている	・記載漏れ
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・3つのモニタリングを実施 1.個別支援に定めるモニタリング期日に個別支援に関するモニタリングの実施 2.6か月に1回保護者の面談によるモニタリングの実施 3.相談員に夜モニタリングの実施	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		自立支援 ：各児童の発達に合わせた課題設定で適切な環境を提供している 地域交流 ：公共施設に出向き地域との関わりを行っている 創作 ：季節に合わせた工作や、スライム・クッキングなどの活動を行っている 余暇 ：児童のニーズに合わせた環境で余暇の過ごしを提供している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・視覚化や構造化などで意思の確認などを行っている	・自己判断の範囲が広く、本人の意思とずれるときがある
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・基本的に児童発達支援管理責任者と担当児童を持つスタッフが会議に出席するよう定めている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	・大津市の保健所・障害福祉課とは常につながりを持っている ・協力医療機関に、「吉田クリニック」と協定している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・北大津養護に通う児童さんの保護者さんから、学校の情報は共有してもらっている ・毎朝、こたわりのある児童の送迎準備の連絡を北大津養護学校に連絡して調節している	・地域学校で、ぶつぷの予定時間と学校の終了時間が合わないことがある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・必要に応じて、保育園などに通所予定の児童を見学させてもらっている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	・必要に応じて、事業祖にいたときの様子や、取り組みなどを作業所などに提供することがある	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・外部研修を受講	・外部に研修を受けているが参加機会が少ない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・外出活動で地域の公園や施設に出向く機会を設けている	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・放課後等支援部会に参加	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送りの時に普段の状況を伝えあい、申し送りの時間に各スタッフに共有している ・モニタリング時期にも保護者と児童の様子について共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・当事業所と家の様子学校の様子などをアセスメントし、必要な助言を行うことがある	・スタッフスキルの向上
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・運営規定・支援プログラムは事業所内に掲示	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・6か月に1回のモニタリングを行っている ・保護者にとって相談しやすい風通しで運営している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1	・個別支援更新次第、保護者にサインをもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	2	・相談に対し、事業所で共有し保護者に対して助言を行っている	・スタッフスキルの向上
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	・苦情マニュアルをもとに対応を行っている ・行政に報告が必要な場合に速やかに対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	・毎月お便りやカレンダーの配布を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・事業所で得た情報は外部に漏らさないことを秘密保持義務の契約書に契約し雇用している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・保護者と接触する際に、児童の情報を共有している	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		・必要に応じて対応する
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・会議などでマニュアルの見直しや改善の内容、運営のポイントなどを周知している	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・BCPはいつでも観覧できるようにファイリングしている、また会議などで周知もしている ・訓練・研修の機会は最低年回っている	・BCP運営の知識向上のため、外部の研修に参加する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・薬の変更などがあった場合は、児童の様子を確認するように周知している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	・アセスメント表にアレルギーの項目を設けている	・職員周知への課題を感じる
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・毎年4月に安全計画の更新を行っている	・児童の行動に対する危険性の確認と対策
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	・安全計画をホームページに記載し誰でも閲覧できる	・周知の実態を把握していない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・危険に感じた内容は「ヒヤリハット・事故報告書」にて報告を行っている ・サービス評価委員会の会議で、ヒヤリハットの内容を確認し対応をスタッフ間で考案している	・ヒヤリハット事故報告の漏れ

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を設置し、虐待や身体拘束に関する会議・研修・訓練を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	・個別支援計画書には、身体呼応測に関する記載を行い、保護者にサインをもらっている	